

十三浜プロジェクト

地産材の有効活用と地域の再生に向けた取り組み

「子育て支援センター」に
手作りの秘密基地が登場！？

宮城県石巻市の十三浜（相川・小指・大室・小室地区）で津波被害にあった木材や地産材を有効活用し、住民の皆様のニーズにあった小屋を製作、現地に設置します。

小屋の設計・製作は日本工学院八王子専門学校「はじめての建築」の課程で支援を実施。実践的な活動をしつつ、地域の皆様との交流も深めています。春はわかめ生産のお手伝い、夏休みには夏祭りのお手伝いなどの活動もあります！



地域の方々とプランを検討

木材の伐採・製材をお手伝い

小屋の設計・製作

現地で小屋を組立て

現場での強風対策・強度アップ

地域の方々との交流



お問い合わせ：

特定非営利活動法人 山の自然学クラブ

日本工学院八王子専門学校 建築学科 建築設計科

www.shizen.or.jp/tohoku/

www.nhac.ac.jp/architecture/

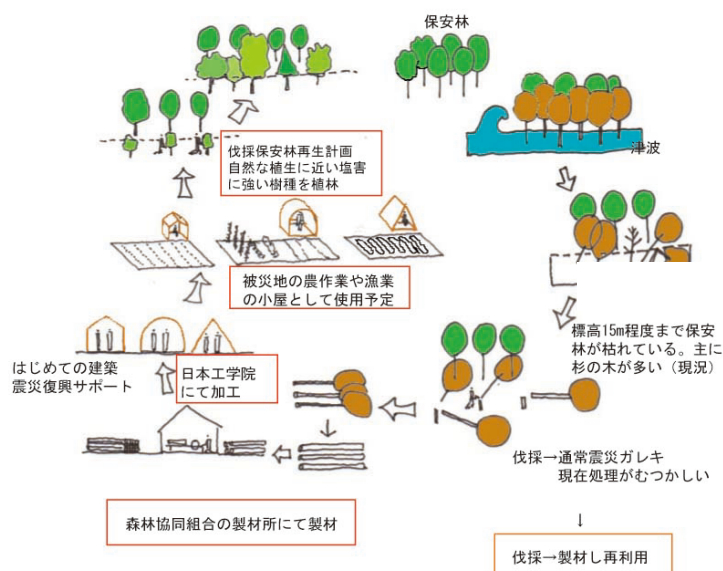
このプロジェクトには「日本郵便株式会社 平成26年度年賀寄附金」の助成をいただいています。

これからも、活動が続いていきます。

専門学校建築学科の一年生が毎年取り組んでいる「はじめての建築」という課程で、津波浸水地およびその周辺の人工林の材を素材として使用し、この地域で利用する建築を製作することになりました。

自治会のみなさんと相談したところ、農作業の時に道具を入れたり、ひと休みしたりできるような小屋があったらよい、との要望を頂きました。そこで、2012年にカリキュラムの中で小さな小屋をいくつか製作、優秀作を2013年に現地へ設置しました。設置後も地元の方々の声を聞きながら小屋の改良や調整を進めています。

この活動では、学生を含む地域間の人的交流をもうひとつの大きな目的として、いろいろな取り組みを進めています。



製材と乾燥は登米森林組合にご協力いただき、製材・乾燥後に八王子校舎へ運搬。



製材した木材を使って小屋を制作、学内で発表します。



「はじめての建築」授業でまずは模型を制作します。



優秀な作品を選んで、いくつかを十三浜地区に設置。木材も里帰りです。



作品の遊具の前で、子育て支援センターの子どもたちと記念撮影しました。



大室の南部神楽復活祭にも参加。この地区にも小屋を設置しました。